

▼今月の『ポピー』の国語で学習するおもな内容と大切なことがらです。

📖の数字は、教科書のページ数です。

2年 町で 見つけた ことを 話そう 📖 32～38

発表の声の大きさを、話す速さにも気をつけようね。



〈おわり〉自分が思ったことを言う。

聞く人が分かりやすいように、ましまりごとに話す。

〈中〉分かったことや聞いたことを、詳しく話す。

〈はじめ〉何について話すのかを言う。

●組み立てを考えて話します。

●町を探検して見つけたことを、聞く人に伝えるように話す仕方を学習します。

1年 いろいろな ふね 📖 43～51

●いろいろな船の役目・つくりについて書かれた説明文です。

●客船、フェリーボート、漁船、消防艇についてカードにまとめます。

①役目…何をするための船か。

②つくり…何があるか。

何を積んでいるか。

どんなことができるか。

それぞれの役目を果たすために便利につくりになっているんじゃない。



4年 ごんぎつね 📖 36～58



栗や松茸をくれていたのがごんであることに気づいた時の、兵十の気持ちも考えてみよう。

●火縄銃で撃たれて初めて、兵十に気が通じる。

●償いの気持ちを気づいてもらえない。

●いたずらの償いに鰯を投げ込み、栗や松茸を運ぶ。

●いたずらを後悔する。

●人間(兵十)にいたずらの償いをする小ぎつね(ごん)の物語です。

●ごんの気持ちの変化を読み取ります。

●ちよつといたずらがしたくなる。



3年 モチモチの木 📖 38～56

●峠のりょうし小屋にじさまと二人でくらす、五歳の豆太の物語です。

1 おくびょうな豆太は、じさまなしで夜中に一人でせつちんにも行けない。

2 今夜は、小屋のすぐ前のモチモチの木に、勇気のある子どもしか見ることができない灯がともるという。

「……それじゃあおらは、とつてもだめだ……。」

3 その真夜中に、じさまが腹を押さえて苦しみました……。

豆太は、一人でお医者様を呼びに行けるかな。



6年 プレゼンテーションをしよう 📖 176～181

写真やグラフにすると分かりやすい情報もあるね。



●説得力のある話し方や資料の見せ方を工夫する。

●発表の持ち時間を意識して、提示する情報を選んで構成を考える。

●効果的な事例や資料を選ぶ。

●聞き手に分かりやすく伝えるために、図書館やインターネットを利用して、資料を使って提案します。

●地域で行われているさまざまな取り組みを参考にして、学校生活をよりよくするためのプレゼンテーションをします。

●グループごとに取り上げることを決め、資料を使って提案します。

5年 大造じいさんとがん 📖 178～196

●大造じいさんと、残雪という一羽のがんの、戦いと交流の物語です。

●場面の様子を考えながら、人物の性格や心情の変化に注意して読みます。

1 いつも残雪にやられて、一羽のがんも手に入らない大造じいさん。

●うなぎばりをしかける。

●小屋の中にかくれる。

●おとりを使う。

2 おとりを助けようとする残雪に感動する大造じいさん。

●残雪を放してやり、

堂々と戦おうと呼びかける。

